

# 岩国市大規模災害対応訓練

〈ねらい〉

大雨洪水警報発令時における避難訓練と豪雨・土砂災害発生後の避難所生活を体験し、災害時における的確な判断力や行動力を育成するとともに、地域住民と協力して災害を乗り越えようとする強い心や思いやりの心、集団生活におけるリーダーとしての資質を養う。



## 実施内容

- 1 実施日時：平成26年8月2日（土）・3日（日）
- 2 実施場所：本郷ふるさと交流館
- 3 参加者：ほんごう保育園園児8人、保護者7人、教職員4人  
本郷小学校児童11人、保護者6人、教職員9人  
本郷中学校生徒12人、保護者6人、教職員10人  
本郷地区住民40人、岩国市教育委員会1人、山口県教育委員会1人

## 4 プログラム

【1日目】8月2日（土）

14:00	14:20	15:00	17:00	18:30	20:00	21:30
学校集合	避難訓練	【活動】 ○児童生徒が作成した「防災マップ」を地域に配付	夕食準備（備蓄食） 【研修Ⅰ】 非常時給水訓練	夕食	【研修Ⅱ】 ○災害救助について学ぶ	就寝 寝床作り

【2日目】8月3日（日）

6:30	7:30	8:00	9:00	11:00	11:20	11:30
起床	・身支度 ・洗面 ・健康観察 朝食準備（備蓄食）	朝食	会場片付け	【防災授業】 ○土砂災害に備える ・土砂災害とは？ ・実験 ・ハザードマップ調べ	振り返り	閉会行事 保護者への引き渡し訓練

## 5 活動の様子

### 1日目

#### 《避難訓練》

大雨洪水警報発令の放送を聞き、小・中学生全員が素速くグラウンド横の駐車場に避難し、人員確認をしました。避難経路の安全確認後、二次避難所（本郷ふるさと交流館）に避難を開始しました。台風12号の影響による雨の中、中学生が小学生を列の前後にはさみ援助しながら、学校から300m離れた二次避難場所へ安全に移動し、15分で避難を完了しました。

また、保育園児は保育士に誘導されながら避難をしました。



〔駐車場に一次避難〕



〔二次避難場所へ移動〕



〔二次避難場所へ集合・点呼〕

### 《園児引き渡し訓練》

避難訓練終了後、ほんごう保育園の保護者へ園児の引き渡し訓練を行いました。

### 《本郷地域の災害の歴史を知る》

平成17年の台風14号による大雨被害の様子等、過去の災害を写真を通して学びました。



〔園児の引き渡し訓練〕



〔過去の災害を学ぶ〕



〔台風14号の被害〕

### 《手作り『防災マップ』を地域に配付》

1学期に小・中学生が合同で作成した「防災マップ」を、自分が住んでいる地区に配付しました。雨が降る中の活動で大変でしたが、地域の方々の喜ぶ顔を見ることができ嬉しくなりました。



### 《非常時応急給水訓練》

岩国市水道局の職員の方から非常用給水バッグの使用方法や肩紐の取付方法を指導してもらい、実際に給水車から2日分の水6リットルを給水バッグに入れました。避難所生活で使用する飲み水や洗面用の水として、各自が計画的に使用する体験をしました。



〔給水車〕



〔肩紐の取付〕



〔給水〕

### 《夕食》

備蓄食（アルファ化米）を使い、本郷町婦人会のみなさんに夕食を準備してもらいました。一人毎に小分けされたレトルトパックに熱湯を八分目程度注ぎ、中身をよくかき混ぜて、残りのお湯を入れるのがおいしく作るコツです。15分ほどでドライカレーができました。

ドライカレーと乾パンを食べましたが、想像以上のおいしさでした。



〔具材に熱湯を注ぐ〕



〔ドライカレーと乾パン〕



〔おいしくいただきました〕

## 《災害救助について学ぶ》

山口・防府豪雨災害や厚狭大雨災害、東日本大震災等で救援活動に携わられた消防署職員の方から、119番通報訓練や応急処置方法等を学びました。また、東日本大震災直後の実際の救援活動の映像を視聴し、災害時の現場の真実に迫りながら災害に対する備えや避難行動等を考えました。



〔119番通報訓練〕



〔溺れた人の救出〕



〔命に関わる出血量の確認〕

## 《就寝準備》

就寝用のマットと非常用持出袋を各自に配付し、男女の間を段ボールの間仕切りで区切り、寝床づくりをしました。夜間の緊急避難に備えて、枕元に非常用持出袋を置いて寝ました。



〔非常用持出袋の中身〕



〔寝床用マット〕



〔寝床完成〕

## 2日目

### 《洗面・体操・朝食》

朝6時30分に起床し、給水バグの水を使い歯磨きと洗顔をしました。その後、健康観察を行い、体操をした後朝食をとりました。朝食は、鶏そぼろのアルファ化米だけでした。



〔歯磨き・洗顔〕



〔体操〕



〔朝食の配給〕

### 《防災授業》

徳山工業高等専門学校の日山准教授から、映像や実験等を通して土砂災害の発生メカニズムや日頃の備えについて学びました。また、ハザードマップを使い、自宅や通学路における危険箇所や避難所を調べながら、安全な避難経路や避難行動について確認しました。



〔乾いた砂の安息角の実験〕



〔土石流発生装置の観察〕



〔ハザードマップ調べ〕

## 《活動の振り返り》

2日間の活動を振り返りました。

### 子どもたちの感想

- ◆ 防災授業を受けて、土砂災害はとても怖いんだなとわかりました。家族と避難する場所を決めておきたいと思いました。(小学5年)
- ◆ 防災授業を受けて、本郷は土砂崩れや土石流がいつ起こってもおかしくないことがわかりました。(小学5年)
- ◆ 防災マップをつくる中で、避難場所、避難場所へ移動する時に使う道、避難場所に着くために危険な場所はどこか・何か所くらいあるのかということ、あらためて確認することができました。(小学6年)
- ◆ 自分たちの作った防災マップを地域の人に配付する時、お年寄りに説明するのを考えるのが大変でした。でも渡した時、笑顔で「ありがとう」とみなさん言ってくれるので、作って良かったと思いました。(小学6年)
- ◆ 普段はあまり地区のみんなで行動することはありませんが、班長を中心に集団で行動することができました。2日目は生活にも慣れて、みんなで協力することができました。給水などの困ったときには班で助け合ったりできたので、よい体験になりました。(中学1年)
- ◆ 避難所で生活をしてみて、災害がおこると大変だと改めて思いました。この2日間で体験し学んだことが、災害が起こって避難する時にしっかりと役立てることができるようにしたいと思いました。(中学2年)
- ◆ 8月2日、避難所生活が始まりました。学校から避難するとき大雨だったので緊張しました。班ごとに危険地区マップを配布したあと、給水訓練がありました。6Lの水を給水バッグに入れました。目に見える量なので改めて水の大切さを感じました。東日本大震災等で実際に救援活動をされた消防署員の方のお話は、心にのこる映像やコメントがあって涙が出そうになりました。2日間、とてもよい体験になりました。(中学3年)

## 《保護者への引き渡し訓練》

最後に、保護者への引き渡し訓練を行いました。子どもを引き取りに来られた保護者が引き渡しカードに必要事項を記入した後、教職員が確認のサインを行い、確実に子どもを引き渡しました。

引き渡し開始から10分程で全ての子どもの引き渡しが完了しました。



## 【総括】

2日間の活動を振り返ると、中学生が小学生の活動をサポートする場面や、身の回りの状況を考え自分たちにできることを協力しながら取り組む様子が見え、みんなで協力して災害を乗り越えようとする心や思いやりの心を育む一助となりました。



〔水筒への給水〕



〔清掃活動〕



〔会場の後片付け〕